

## 令和4年第7回黒部市議会12月定例会

### 提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表・個人） 通告要旨

#### ■ 提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（代表）

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	自民同志会 木 島 信 秋	<p><b>1 予算編成への地区要望等の反映について</b></p> <p>(1) 一般会計の過去5年間の決算収支状況について 先の9月定例会決算特別委員会の審議を振り返る。 特に取り上げるべき点は、一般会計の実質収支が9億1,408万5千円であったこと。過去5年間の決算収支状況について伺う。</p> <p>(2) 実質収支の望ましい水準について 公会計では、その年度の支出は、その年度の収入で賄うべきとされ、前年度の収入を本年度の支出に充てることは望ましくないとされている。 財政運営上、望ましいとされる本市の実質収支について伺う。</p> <p>(3) 財政調整基金の望ましい水準について 令和4年度一般会計当初予算では、歳入の繰越金は3億5千万円であり、令和3年度決算の結果、約5億6千万円が上振れしたことになる。 一方で、財政調整基金繰入金、減債基金繰入金とともに2億円である。繰越金の上振れ額5億6千4百万円は、どこに仕向けられるのか。 仮に、財政調整基金及び減債基金からの繰入金と振り替えられるのならば、これらの基金残高はどうなるのか。望ましい水準とこれまでの推移について伺う。</p> <p>(4) 地区要望・議会等の指摘・意見の反映について 9月定例会での令和3年度決算審議を踏まえ、令和5年度に向けて予算の増額や効率化を進めるため、具体的に認識している主な留意事項について伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市 長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 木島信秋	<p><b>2 令和5年度当初予算編成方針について</b></p> <p>(1) 重点事業「住む人が輝き、人が人を呼び込む」まちづくり政策の推進について            予算特別枠として「黒部の未来枠」が設けられている。            ①人口減少社会への対応、            ②安全・安心、生き生きとしたコミュニティづくり、地域で支え合い、高齢者がいつまでも元気な街、            ③子育てしやすい街づくりとふるさと教育、            ④住民参加型のまちづくり、            ⑤黒部ブランドの確立・強化、            ⑥観光政策の強化、            について、それぞれ新規目玉事業の構想・企画段階にあると思うが、現時点での概要を伺う。</p> <p>(2) 重点事業 新型コロナウイルス感染症対策の推進について            9月末からは、感染者数の全把握が簡略化され、市町村別の感染者数の公表がなされず、より身近な感染状況が見えにくくなっている。            改めて、現状に対する認識と行動の制限や自粛といった対応の必要性について伺う。            感染が短期間で急増するような事態が生じた場合、対応可能な体制に緊急的に切り替えることができる医療供給体制を構築する必要がある。            市民病院では、11月10日頃から感染症患者の入院が急増し、11月19日からは感染症病床を16床から50床へ増床したが、市民病院を基幹病院として民間医療機関との連携を含め対応を伺う。</p> <p>(3) 重点事業 デジタル化の一層の推進について            本市が目指すべきデジタル社会の全体像について、「名水の里黒部デジタル化ビジョン」を策定することとしていたが、その進捗状況について伺う。</p> <p>(4) 重点事業 脱炭素化の推進について            本市が取り組むべき重点分野、個々具体の事業を明らかにしていくアクションプランの策定が必要と考えるが、どのように考えているのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 病院長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 木島信秋	<p>3 (仮称)くろべ市民交流センター新築工事の変更について</p> <p>(1) 今回の増額算定について 新築工事にかかる資材高騰については、先の9月定例会においても、「その影響を精査中」との懸念を示されていた。 市民交流センター予算、(継続費)については、昨年に引き続きの増額となるが、二度目の追加となる今回の増額について、その理由及び財源対応について伺う。</p> <p>(2) 工事の進捗管理について 増額に併せて工期延長が必要になっていると聞いたが、現在の工事進捗の状況と完成の見通しについて伺う。 それを踏まえて、市民交流センターのオープンの見通しについて伺う。</p> <p>(3) 設置条例の制定及び愛称決定のスケジュールについて 市民交流センターの運営方式や行政組織については、管理運営実施計画庁内検討委員会で検討していくとのことであった。 施設の愛称については、条例で正式名称を定めた後、一般公募を行い決定するとのことであったが、特に、愛称は、市民の皆さんに愛され、親しみを持って利用していただくうえで非常に効果的である。 設置条例の制定はいつなのか、続く愛称の決定の具体的なスケジュールについて伺う。</p> <p>(4) これまでの決定事項への対応について 平成23年の図書館建設基本構想を出発点に、旧庁舎跡地活用に関する提言書、公共施設の再編に関する基本計画などを踏まえ、平成27年12月、当時の堀内市長が「図書館を核とした市民交流センターの建設を目指す」ことを表明された。 その後、民間委員による委員会や市議会特別委員会での議論を経て、平成29年6月定例会において「建設基本構想」が議決、さらに平成31年3月には「管理運営計画」が策定された。この計画の概要について伺う。</p> <p>(5) 市民交流センターへの期待について いよいよオープンを迎える市民交流センターについては、建設基本構想の基本コンセプトを『市民が集い学ぶ文化・交流の拠点』としているが、今後、武隈カラーを取り入れ、どのような施設に育てていきたいと考えているのか伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 木島信秋	<p><b>4 個別の施策方針、推進方策について</b></p> <p>(1) 姉妹都市交流事業の推進について  姉妹都市宮城県大崎市を訪れ、農業関係施設や道の駅を視察した。  「KOKOくろべ」での、例えば「ロイズ」商品の販売や世界農業遺産に認定された「大崎耕土」について農業関係者による視察、交流を提案する。  同じく根室市では「ふるさと納税」や漁業関係の取組みを視察した。  各分野の施策成果を意識し、先駆的なノウハウ蓄積や実益の向上につながる実務的な取組みも展開していくべきと思うが、その考えについて伺う。</p> <p>(2) 市内道路網計画及び除雪対策について  国の第2次補正予算で国交省は、国直轄の「国道8号入善黒部バイパス」の4車線化事業に5億5千万円を配分し、全線4車線化が加速している。  一方で、市内の骨格道路である「湾岸道路・魚津生地入善線(石田地内)」、「市道新堂中新線」、「黒部宇奈月縦貫道路」、「都市計画道路・前沢大布施線」が、なかなか進捗を見ていない。  それぞれの計画及び進捗状況、今後の整備スケジュールについて伺う。  また、市民にとって身近な生活道路等の改修や道路標識、白線の劣化への対応について方針を伺う。  さらに、幅員が狭く、除雪車の進入や排雪が困難な箇所において、消雪装置を新規整備していく必要性があると考えますが、どのように捉えているのか伺う。</p> <p>(3) 不登校児童生徒の増加について  富山市内の市立小学校の2021年度の不登校者数が、小中学校ともに前年度より100人程度増加したとのショッキングな報道を見た。  新型コロナ禍で活動が制限されたことによる意欲の低下や休校が続き、欠席に対する抵抗感が少なくなったことが原因とされている。  本市における実態を伺う。  併せて、原因をどう分析し、どのように対処していくのか伺う。</p> <p>(4) 大型事業の整備計画について  先日12月3日、第3回生地駅周辺まちづくり講演会に参加した。  私の認識では、ホームや跨線橋を含む駅の新設、線路等の軌道工事、駅前広場の整備などについては、ほとんど進展していないのではと思っている。  長年にわたる懸案であった生地西背戸川改修事業についても、いよいよ本格整備に着手すると聞いている。  生地駅移転等生地駅周辺活性化事業および生地西背戸川改修事業にかかる整備方針及び整備スケジュールについて伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	自民同志会 木島信秋	<p><b>5 武隈市政半年間を振り返って</b></p> <p>(1) 市民の皆さんとのコミュニケーションについて 市民の皆さんとのコミュニケーションにおいて、評価できる成功事例について、何故うまくいったか振り返り、どう捉えているのか伺う。 逆に、失敗や辛かった事例があれば、そこから得た学びを振り返って所感を伺う。</p> <p>(2) 議会との折衝について 議会との折衝について、同様に伺う。</p> <p>(3) 職員とのディスカッションについて 職員とのディスカッションについて、同様に伺う。</p> <p>(4) 関係強化について あらゆる場面において、お互いに信じて頼り合える相互関係を築いていくことが重要である。 東日本大震災により、「絆」という言葉が多く使われるようになった。 そのような関係があると、仕事のモチベーションなども維持できるのではないか。 市長の所感を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 柳田 守	<p><b>1 令和5年度予算編成方針について</b></p> <p>(1) 歳入の根幹を占める市税収入は、令和3年度決算ベースで約77億9,700万円、コロナ禍前の令和元年度決算の約81億3,700万円と比較し3億4,000万円減少している。今後も当分の間市税収入の減少が見込まれるが、市民税(個人・法人)の次年度以降の予算見込みと市税収入総額をどの程度見込んでいるかを伺う。また、今後の一般財源総額の見込みも合わせて伺う。</p> <p>(2) 本市の財政状況のバロメーターの一つである実質公債費比率は、令和3年度決算で10.9%と財政健全化に向けて順調に推移してきたが、後年の公債費の高止まりも憂慮される。今後の実質公債費比率の見込みを伺う。</p> <p>(3) 予算編成方針に掲げられた4点の重点事業のうち、1つ目のまちづくり政策の推進のため予算特別枠として「黒部の未来枠」を設け、ソフト事業中心に推進するとあるが、その方向性や具体的な施策があればお聞きしたい。</p> <p>(4) 同じく重点事業の3つ目としてデジタル化の一層の推進を掲げ、市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、市デジタル化推進PTでの検討を反映したデジタル化の取組を推進するとあるが、プロジェクトチームでの具体的な検討内容とこれに伴う施策展開をお聞きしたい。</p> <p>(5) 全庁横断的にメリハリをつけるため要求基準を設定し、重点事業はシーリング対象から除外し所要額計上を可とし、その他のソフト事業経費・ハード事業経費は、一般財源ベースで、前年度当初予算の範囲内あるいは総合振興計画後期計画で記載する一般財源の範囲内に定めたと聞く。去る10月下旬に行われた各自治振興会の地区要望との整合性をお聞きしたい。また、9月議会決算特別委員会の委員長報告にある「地区要望の予算化状況は十分であるとはいえない」との指摘に対する市長の考えを合わせてお聞きしたい。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 柳田守	<p><b>1 令和5年度予算編成方針について</b></p> <p>(6) 令和4年度予算に対する地区要望予算化率は、黒部市(16地区)全体で新規要望59件に対し予算化件数25件(42%)、継続要望221件に対し予算化件数83件(38%)、合計280件に対し108件(39%)と示されている。しかしながら、決算委員会報告からみると、安全・安心施策に対する市民満足度は低いのではないかと考える。厳しい財政状況下であると理解するが、切実な住民要望に答えるべきと考えるが市長の思いをお聞きしたい。また、地区要望予算化率を件数だけではなく、予算額で示すことがより適切と考えるが合わせてお聞きしたい。</p> <p>(7) 厳しい財政状況下の中においても、将来にわたり本市の活力を維持・発展させるために引き続きの財政健全化への取組と地域経済の活性化に向け、必要な投資が極めて重要であると考えますが、これらについて具体的な施策やその方向性について伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
		<p><b>2 第2次総合振興計画後期基本計画策定について</b></p> <p>(1) 9月議会の一般質問答弁の中で市長は、後期基本計画策定にあたっては、未来会議等で出された市民意見や市長選挙での公約を盛り込んだ素案を提示し、審議会での議論も含め丁寧に進めて行くためにも作業の進捗によっては、3月議会への後ろ倒しになる可能性を示唆された。審議会開催の回数を含め、その後の行程・スケジュール変更等の内容を伺う。</p> <p>(2) 今12月定例会に後期基本計画策定事業費106万8,000円を追加する補正予算が提出されているが、その内容を伺う。</p> <p>(3) 12月議会開催中に後期基本計画策定素案が市議会に示されるものと考えますが、市議会としての意見等があればいかに素案修正し、パブリックコメント等次のステップに結びつけ、最終答申に至るのか具体的なスケジュール等を伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 柳田守	<p><b>2 第2次総合振興計画後期基本計画策定について</b></p> <p>(4) 生地駅周辺活性化構想の後期基本計画への反映について改めて伺います。6月議会での答弁の中で市長は、「活性化協議会」資料によると踏切移設と生地駅移転で約35億円の事業費が見込まれ、市として中味の精査が必要と述べられ、市が主体となって整備するには市における便益やまちづくり方針との整合性、事業スケジュールを十分検討し、事業全体の必要性和事業実施にあたっての費用、財源を含めた課題を整理した上で後期基本計画へ記載したいと答えられた。6月議会から約6カ月経過するが、どのような精査検討が行われたのかお聞きします。特に事業実施に係る費用や財源の見込みを具体的にお聞きしたい。</p>	市長
		<p><b>3 小学校再編計画について</b></p> <p>(1) 大野前市長による方針変更を受け、教育委員会事務局は令和2年度に「学校教育基本計画及び小学校再編計画基礎調査」において跡地活用、跡地売却手法の検討を含む小学校統合の方向性検討等を行ったと聞くが、基礎調査の内容及び確認、検証事項を改めて伺う。</p> <p>(2) 昨年12月議会の答弁の中で学校再編という大きな取組については、学校規模の考え方や児童数推計等を提示し、令和4年度において学校規模の考え方を段階的に示せるよう内部検討を進めたいとあった。令和9年度までの児童数推計は、令和元年度に示された推計と差異はあったのかを伺う。</p> <p>(3) 平成26年4月の東布施小と田家小の統合によるたかせ小、平成28年4月の前沢小と三日市小の統合による桜井小は、それぞれの校下において地域振興の低下を懸念する一定の意見はあったものの、複式学級・過小規模校の解消に理解を示すPTAを含む住民の皆様の理解を得ることにより、比較的スムーズに再編できたものと考えます。現行9小学校のうち小規模校は7校にのぼるが、それぞれ地域とともに歩む特色ある小学校であると思うが、教育的な観点等からあくまで適正規模校への再編を目指すのか伺う。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>



質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
2	自民クラブ 柳田守	<p><b>3 小学校再編計画について</b></p> <p>(4) 大野前市長は、令和9年に予定されていた再編を一旦立ち止まり再検討する主な理由として、子どもたちの教育環境の充実を図ることは大変重要な責務であると認識する一方、地域の活力の維持・創造に努めることは大切な使命であるとし、学校再編と地域振興の両立をめざし、今後学校再編に誠心誠意取り組むと述べられた。武隈市長の小学校再編に係る考え方を伺う。</p>	市長
		<p><b>4 放課後児童クラブについて</b></p> <p>(1) 令和2年9月議会で放課後児童クラブの詳細をお聞きしたが、2年前と比べ在籍児童数、学童登録人数、登録率、平均利用人数・利用率等の現状に変化があったかどうかを伺う。特に新型コロナウイルス感染症拡大に係る影響等があれば合わせて伺う。</p> <p>(2) 2年前当時も放課後児童支援員不足が最も大きな課題に挙げられていたが、各クラブの支援員の処遇改善や資格取得研修履修等により支援員不足は解消されたのか伺う。また、市として改善や資格取得に向けた環境づくりをいかに進められたのか合わせて伺う。</p> <p>(3) 小学校の夏期休業時の支援員不足が顕著であると聞く。これらをクリアする方法の一つとして、複数クラブ合同の開所を提案する。例えば現在閉校中の旧宇奈月中学校や旧鷹施中学校の施設を利用し、原則午前7時30分から午後6時までの範囲内で運営する。各クラブからの送り迎えはスクールバス利用。一定数の支援員の確保で学童保育が可能になると考える。市が主体となり検討されることを期待するがその是非を伺う。</p> <p>(4) かつて開所時間の延長を求める声があったと聞く。市の定める運営マニュアルでは平日の開所時間は、原則放課後から午後6時までを基準とするも保護者の就労状況等により開所時間を延長する場合は、児童の健全育成の観点に配慮し設定することとある。各クラブの時間延長の取組状況を伺う。</p> <p>(5) 本市の「公設民営」方式は市民の皆様にも受け入れて頂いた価値ある制度であると思うが、各クラブ自ら行う支援員確保や煩雑な事務手続きなどに対する改善要望も高い。支援員を市において一括採用し、各クラブに派遣する制度やクラブ入所に係る事務を一括してこども支援課で行うことなどを検討し、各クラブの負担感を軽減することも法や条例の求める市の責務の一つと考えるが、その是非を伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市長</p>

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
3	自民志創会 成川正幸	<p><b>1 「令和5年度予算編成方針について」</b></p> <p>(1) 令和5年度の税収見込みと一般財源総額見込みを伺う。</p> <p>(2) 特別予算枠にしている「黒部の未来枠」とは、どのような事を考えているのか伺う。</p> <p>(3) 新たな財源の確保に広告媒体の活用やネーミングライツ、企業版やクラウドファンディング型も含めた「ふるさと黒部サポート寄附」などの検討を行うとあるが、本格的にいつから始めるのか等の目標はあるのか伺う。</p> <p>(4) 脱炭素化の推進については、国が示すロードマップを参考に進めるとあるが、本市としてどこに重点を置いて進めていくのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
		<p><b>2 公共施設の管理活用について</b></p> <p>(1) 用途を廃止した公共施設の活用・処分は時期を前倒ししても行っていくべきだと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 小学校統合について、中学校の統合後2年間で統合の影響などを精査し検討するという事だった。統合して2年経過した現在、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 市内の放課後児童クラブは年数が経過して、支援員の人員不足や部屋が手狭で受入人数が制限されるので、待機児童が発生しているなど課題・問題点も見えてきている。運営方法など制度を抜本的に見直しが必要ではないか考えを伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
3	自民志創会 成 川 正 幸	<p><b>3 教育・文化施設のデジタル化振興について</b></p> <p>(1) GIGAスクール構想など教育現場のデジタル化を推進していくために、早期の段階で使ってみること、慣れることが重要と考える。市内小中学校へ電子黒板などデジタル機器の積極的導入を行うことも必要ではないか伺う。</p> <p>(2) 公衆無線LAN (Wi-Fi) を充実させることが市民の利便性向上や災害時の情報収集手段の提供等を図るためだけではなく、教育現場や関係人口増にも大きく影響すると思われる。学校・公民館などの今後の取り組みを伺う。</p>	<p>教育長</p> <p>教育部長</p>
		<p><b>4 防災・減災対策について</b></p> <p>(1) 本市でも毎年、災害避難訓練が開催されているが、参加者や開催方法など硬直化していないか、有事の際に機能するのか心配なところである。今までのやり方にとらわれることなく、もっと色んな方法で開催しても良いのではないかとと思うがどうか伺う。</p>	<p>防災危機管理統括監</p>
		<p><b>5 行財政改革の推進について</b></p> <p>(1) 効率の良い業務と人員配置にするにはRPA等、デジタル化を積極的に導入し、現在の業務量を削減する必要があるのではないかとと思うが考えを伺う。</p> <p>(2) 外部人材導入より内部人材のレベルアップを推進していくとの方針という事だが、職員研修費の増額や新たな自治体・企業などへの外部派遣を増やしていく考えはあるのか伺う。</p> <p>(3) 人口減少社会において、市民サービスのレベルを保つために、自治体連携でスケールメリットを生かす取り組みが必要ではないか伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市 長</p>

■提出諸案件に対する質疑並びに市政一般に対する質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	家敷誠貴 (一問一答方式)	<p>1 KUROBE型地域部活動について</p> <p>(1) 今年度の取り組みについて伺う</p> <p>(2) 次年度の全運動部活動地域移行に向けた取り組みについて伺う</p> <p>(3) 文化部の地域移行に向けた取り組みについて伺う</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>
		<p>2 公共運動施設の管理について</p> <p>(1) 宮野運動公園陸上競技場、黒部川公園運動広場の管理、利用状況について伺う</p> <p>(2) 黒部市農林漁業体験施設実習館半屋外施設の管理、利用状況について伺う</p> <p>(3) 今後の各施設の管理について伺う</p>	<p>都市創造部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>都市創造部長 産業振興部長</p>
		<p>3 放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 各施設の現状や課題について伺う</p> <p>(2) 課題解決に向けた今後の取り組みについて伺う</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	長谷川 恵 二 (一問一答方式)	<p>1 第2次総合振興計画後期基本計画及び令和5年度予算編成方針について</p> <p>(1) 第2次総合振興計画後期基本計画について 2023年から始まる後期基本計画に、生地駅周辺活性化事業について記載されるとのことであるが、35億円といわれる予算に検討時間が少なすぎるのではないのか。その事業にはどの程度の緊急性や必要性が考えられ、説明されているのか。またその事業の採算性とその実現性は妥当なものなのか。</p> <p>(2) いつまでも人口減少を受け入れるだけの対応では、未来は見えてこない。 当市の人口減少をどう食い止めるのか。少子化対策の名のもとに地域の縮小均衡対策ばかりが目立ってきているが、もっと積極的な対応はないのか、うかがいたい</p> <p>(3) 令和5年度予算編成方針において「黒部の未来枠」がソフト事業中心となっているといわれるが、エネルギー自立都市をめざすなどのハードも含めた事業は考えられないか。4点目の脱炭素化に再生可能エネルギーの導入の記載はあるが、これはぜひ黒部の未来枠として位置づけるものでないか。</p>	市長  市長  市長
		<p>2 物価高騰対策について</p> <p>(1) プレミアム商品券の追加発行 1万円単位の発行では、買いつらいという声もある。3千円・5千円単位での発行を進められないか。</p> <p>(2) 給食費の無償化 憲法第26条第2項では「義務教育は、これを無償とする」と規定しており、当時の政府は将来的にはすべての無償化が望ましいと答弁しているが、いまだ実現の見通しは政府からは示されないままとなっています。県内の自治体では、義務教育の給食費を無償化するところも増えています。当市での見通しはどうなっているのか。</p> <p>(3) 緊急の電気・燃油支援が必要では 昨年は福祉灯油の名目で、非課税世帯等に金券が支給されている。思いがけず3年越しとなった新型コロナ禍と、近時の物価高騰により多くの家計はまさしく炎上中といってもよい状況であり、とりわけ値上げ幅の大きい電気燃油代支援は、特定業界にとらわれず市民全体に行われるべきではないか。</p>	市長  市長  市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
2	長谷川 恵 二 (一問一答方式)	<p><b>2 物価高騰対策について</b></p> <p>(4) 富山県住宅省エネ改修モデル事業への上乗せ補助金を 富山県は11月30日に上記モデル事業を発表した。市内小規模建築業者は、住宅新築工事の多くを大手ハウスメーカーの大量宣伝に奪われがちだが、市内事業者に限定された制度設計で地域循環型経済に資することが必要ではないか。</p>	市長
		<p><b>3 諸施策の推進について</b></p> <p>(1) 中央小学校の信号機の歩行者横断時間について 中央小学校北東側に設置されている交差点信号は、全赤信号方式で歩行者の安全が図られているが、歩行者横断時間は10秒ほどしかなく、安全に渡り切るには走って行く必要がある。高齢者等では、とても一回で渡りきれない。時間の延長を関係機関に働きかけるべきではないか。</p> <p>(2) 要介護判定1・2の介護保険給付から地域総合事業への移行について 介護保険事業から総合事業に移された要支援1・2の対象者は何人ほどか。 実際に総合事業を利用している人はそのうちどれほどか。 総合事業決算の推移はどうなっているのか。</p>	市長
		<p>(3) 避難所(学校体育館)の冷暖房化について 学校体育館は避難所としても活用されるが、その多くが冷暖房設備不備のものである。近年の自然災害の多発は全国に及んでいる。当市においてもぬかりない準備のひとつとして、多額の経費が予想される学校体育館の冷暖房化はいち早く取組むべきではないか。</p>	市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	成川正幸 (一問一答方式)	<p>1 「道の駅」周辺エリアの連携強化策について</p> <p>(1) 周辺施設も含めたエリアのPRも加えてはどうか伺う。</p> <p>(2) 「道の駅」周辺エリアに近隣地域にはない施設整備は出来ないか伺う。</p> <p>(3) 道の駅と総合公園の間に歩道橋の設置について、所見を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市長</p>
		<p>2 ストップ人口減少に向けて</p> <p>(1) 行政区ごとの人口ビジョンと地域戦略の策定をしてはどうか伺う。</p> <p>(2) 集落支援員制度の導入をしてはどうか伺う。</p> <p>(3) 学校給食費の無償化を実施してはどうか伺う。</p> <p>(4) 市外へのPR内容の充実と方法の検討をしていただきたいと思うが、考えを伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	古川和幸 (一問一答方式)	<p><b>1 本市における公民館運営・あり方等について</b></p> <p>(1) 人口減少問題や少子高齢化、高度情報化の急速な進展などの社会情勢の変化を背景に、地域における社会教育や地区公民館に求められる役割も変化しております。そこで、本市内における公民館運営・あり方についての当局の考えを伺う。</p> <p>(2) 地区公民館についてR4年6月議会での答弁にて、今後は防災上の観点も含め公民館に求められるデジタル技術の必要性・Wifi設置等を検討する。又今後、公民館において生涯学習施設等予約システム整備事業の導入とありましたが、その後のそれぞれの状況について伺う。</p> <p>(3) 地区公民館における「コミュニティづくり推進事業活動重点化」予算(10万円×4か所)について、現在の状況(活動報告)と今後のあり方について伺う。</p> <p>(4) 宇奈月公民館(築50年以上:S43年建造)の今後のあり方について当局の考えを伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>
		<p><b>2 地域における農林水産業の未来(計画)について</b></p> <p>(1) 富山県農林水産物等輸出拡大方針にて輸出目標額が出され、令和8年度輸出額を120億円まで拡大(令和2年度12億円)を目指すと掲げられましたが、その目標値を受け、本市における考え方について伺う。</p> <p>(2) 令和4年度黒部市野菜等の配送社会実験に関する途中経過報告及び今後の予定について伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p><b>3 本市における図書館運営・計画等について伺う</b></p> <p>(1) 本市では、家族や周囲の大人との読書体験を通じて、子どもが進んで読書に親しみ、子どもの豊かな感性と創造力を育む環境の整備及び関係機関の連携・協力を円滑に行う事を目的とした「黒部市子ども読書活動推進計画」を策定しておりますが、現在の事業状況について伺う。</p>	<p>教育部長</p>



質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	古川和幸 (一問一答方式)	<p>3 本市における図書館運営・計画等について伺う</p> <p>(2) 新しい図書館の開館に向けた市民むけのPR活動等を含めた事業計画について伺う。</p> <p>(3) (仮称)くろべ市民交流センター移転後の現在の市立図書館の取扱・活用の仕方について伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>総務管理部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	松倉孝暁 (一括方式)	<p><b>1 マイナンバーカードの運用について</b></p> <p>(1) 現在の普及率について 最新の普及率を、また可能な範囲で他市のデータと合わせてお示してください</p> <p>(2) 万一の紛失時の対応について 再発行には1か月程度要するとのことのお話です。紛失時の対応について市民とすればどのような用意が必要か？</p> <p>(3) マイナンバーカードの機能について 健康保険証としてマイナンバーカードを使用できない市内の診療機関はあるのか？またその場合はいつ頃使用可能となるのか</p> <p>(4) 登録率100%を目指して 身体障害者の方また高齢者への対応として訪問登録の対応を今後にはできないか？</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>
		<p><b>2 (仮称)くろべ市民交流センターについて</b></p> <p>(1) 工期について 資材調達の遅れ等による工期の遅れが見込まれますがどの程度か</p> <p>(2) 予算について 円安によるさらなる資材高騰の影響を危惧するが12月の補正2億5000万円で十分か</p> <p>(3) 管理運営体制について 交流センターの5つの機能をどのような組織体制で融合させるのか。全体を俯瞰し、タイムリーに市民の声を運営に反映できるよう庁内に管理センターを設ける必要があるのではないか</p> <p>(4) 三日市公民館の複合化 三日市公民館は複合されます。三日市公民館としての主体性は発揮できるのか？会場の利用料についても不安があるがどうなるのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育部長</p> <p>教育部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	松倉孝暁 (一括方式)	<p><b>3 物価高騰対策</b></p> <p>(1) 最近の物価高の現状を具体的にどのように認識しておられるのか？</p> <p>(2) 燃料購入に対する助成費について本年度単年に限り全世帯にガソリン・灯油の購入補助をできないか？</p> <p>(3) 朝日町では小学校の給食費を無料としている。本市でも検討の可能性は？</p>	<p>産業振興部長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>
		<p><b>4 出産・子育て応援交付金事業について</b></p> <p>(1) 経済的支援について 妊娠届出時に5万円相当・出生届出時に5万円相当の経済的支援とあります。電子クーポンで支援等各市町村の取り組みに合わせて実施方法を検討とあるが、本市では支給方法はどうなるのか？</p> <p>(2) 伴走型支援について 伴走型支援であることがこの施策の肝である。妊娠期・出産期それぞれにおいて妊婦さんに面談支援をし、安心して子育てできるようにする支援策であるが本市においてはどのような支援体制を組むのか？</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
		<p><b>5 広域観光について</b></p> <p>(1) 観光庁への要望活動の成果と課題 11月30日武隈市長・魚津市四十万副市長と和田観光庁長官に要望活動を行って来られましたが現時点での成果と課題をどのように感じられたか教えてください。</p> <p>(2) 長野県大町市との交流促進について 長野県大町市は人口約2万5千人の町。大町温泉郷があり、黒部市と同じく電源開発の歴史を持つ観光都市であります。経済界はすでに交流があり両市の商工会議所は10年以上の交流の歴史があります。そこで提案ですが両市の交流を経済界だけにとどまらず、スポーツ・政治・文化各界に渡っての交流を広げてはどうか？</p> <p>(3) 大町市との姉妹都市・友好都市締結の可能性はあるか</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	谷村一成 (一問一答方式)	<p><b>1 くろべ牧場まきばの風について</b></p> <p>(1) くろべ牧場まきばの風は、今年度予算においても一般会計繰入金を1億170万円計上しており、現在も決して健全経営とはいえないが、令和元年度の経営診断で示された改善策を講じることにより、令和5年度以降は健全経営も可能であるとの報告を受けている。よって今年度は、来年度以降に向けての重要な年度と考えるが、見通しについて伺う。</p> <p>(2) 家畜等育成事業収入については、生乳販売収入や家畜売払い収入の増加により、令和元年度から令和3年度にかけて20%強伸ばしており、今後更に売上げを伸ばすとともに、利益意識を高めるべきと考える。また、ふれあい事業収入については、ピーク時と比べ収入が半減している。これは新型コロナウイルス感染症や天候など環境に左右されることがあるため、特にコスト意識向上が必要と考えるが、今後の収益向上のために、どのように取り組むのか伺う。</p> <p>(3) 牧場事業の健全経営を目指すには、牧場経営に係る数字を職員間で共有し、利益に対する意識改革が必要ではないのか。数字を意識した取り組みとそうでない取り組みは、結果が大きく違うと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(4) くろべ牧場まきばの風は、民間等に移譲する方針を掲げていたようだが、移譲より公設民営化により経営の健全化を図るべきと考えるが、所見を伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p><b>2 農業振興について</b></p> <p>(1) 農業者の話し合いに基づき、地域農業を担う農業者やこれからの農業の在り方を明確化にする「人・農地プラン」が平成24年に開始された。本市においても、令和元年より13地区において人・農地プランの実質化に向けた取り組みについて始めた。その後、令和3年3月には全地区において実質化されたプランを公表し、令和4年3月には6地区においてプランの更新がなされているが、どのような成果が得られたのか。</p> <p>(2) 農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律が今年5月に成立した。これは、「人・農地プラン」を法定化し、地図に表して見える化する「地域計画」の作成を市町村に求めるものだが、今後どのように取り組むのか伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	谷村一成 (一問一答方式)	<p><b>2 農業振興について</b></p> <p>(3) 農業で大きな課題となっている担い手不足を解消するためには、スマート農業の導入をどう進めていけるかが重要だと考える。本市においては、ドローンやラジコン草刈り機等の活用をしているが、今後の更なる推進についての考えを伺う。</p> <p>(4) 農林水産省は、2021年5月に「みどりの食料システム戦略」を発表し、2050年までに有機農業が農地に占める比率を25%に高める目標を掲げ、本腰を入れて有機農業振興に取り組み始めているが、本市でも具体的に取り組みを検討すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(5) 6次産業化は、農業者の所得向上、生産拡大、雇用の創出、またブランド化による地域の活性化や観光客の増加も期待できると考えるが、今後、6次産業化の取り組みを拡大していくために、市としてどのような支援策を講じるのか。また、道の駅「KOKOくろべ」との連携についても伺う。</p>	<p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p> <p>産業振興部長</p>
		<p><b>3 防犯カメラについて</b></p> <p>(1) 自治体が防犯カメラを設置・運用するケースが増加している中、本市においては主要駅や駐輪場、学校などを中心に設置し運用されているが、公園などの公共施設や児童生徒の通学路にも防犯カメラの設置が必要と考える。現在の設置状況を踏まえ、今後どのように進めていくのか考えを伺う。</p> <p>(2) 今年度本市では、防犯カメラ等設置事業補助金交付制度が実施されている。この制度では、上限額10万円、1自治振興会あたり2台までとなっているが、自治振興会の人口規模により需要量が違うと考えられる。昨年度までの県の補助金制度同様に人口規模に応じた台数上限を設定してはどうか。</p> <p>(3) 防犯カメラで撮影された映像に特定個人がはっきりと映っている場合、その映像は「個人情報」の一種として扱われるため、防犯カメラの設置に関しての重要な法律は「個人情報保護法」となる。市の補助金制度を利用して設置した地区が、各々防犯カメラ等管理運用規程を作成し順守していくのは困難と考えるが、管理・運用については市が行ってはどうか。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	中野得雄 (一問一答方式)	<p><b>1 当市における少子化対策について</b></p> <p>(1) 12月補正予算の中で、児童福祉費補助金「出産・子育て応援交付金」が計上されているが、今後は一時的な支援金でなく、恒久的な施策とし市独自の政策支援を行うべきと考えるが如何か伺う。</p> <p>(2) 誕生祝金については、4年前に現行制度を見直し現在の制度に至っているが、少子化対策に一石を投じるようなダイナミックな制度改正が必要な時期と考えるが、当市の考えは如何か伺う。</p> <p>(3) 少子化対策の大切な位置づけとして「不妊治療」について、本市の支援施策拡充について伺う。</p> <p>(4) 給食費について当市は以前、無償化や値上げ分の補填を行ってきた経緯があるが、来年度以降についても厳しい社会経済情勢を踏まえ、無償化などの支援施策を願うが、当市の考えを伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>教育部長</p>
		<p><b>2 令和4年度の除雪体制について</b></p> <p>(1) 昨年12月議会でも伺った「思いやり除雪」について、昨年度より検討を行った経緯と本年度の計画について伺う。</p> <p>(2) 除雪車両の現在地把握システム(GPS)設置状況と今後の計画について伺う。</p> <p>(3) 除雪車両運転従事者不足が課題となっている中、今後、従事者の待機時間を考慮した施策を望む声が事業所より上がっているが、当市に於いてはどの様な考えを持っているのか伺う。</p> <p>(4) 新規の消雪路工事については原則行わないとのことである中、住宅地内の生活道路についての除雪が問題である。小型除雪機の設置計画について伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	中野得雄 (一問一答方式)	<p data-bbox="496 293 895 331"><b>3 有害鳥獣対策について</b></p> <p data-bbox="496 371 1262 477">(1) 新川地区獣肉生産組合に委託料を助成しているが、近年の加工施設稼働状況、そして「KOKOくろべ」への供給量・販売の実績について伺う。</p> <p data-bbox="496 589 1254 694">(2) 黒部市鳥獣被害防止計画(令和元年)に示されている、イノシシ・ニホンザルの軽減を令和4年度目標値が示されているが、成果と課題について伺う。</p> <p data-bbox="496 806 1270 1014">(3) ニホンザルの出没メールや目撃情報が多く寄せられている中、住宅被害についても、中山間地だけでなく市街地・住宅地でも確認され、猿による家屋の損傷・菜園等の被害を聞いている。今後、住宅等の被害について上限を設定しての補修費助成制度を検討する事が出来ないのか伺う。</p> <p data-bbox="496 1077 1270 1285">(4) 各地区において、恒久的な侵入防止柵が順次設置されているが、現在設置については要望地区を優先として実施していると聞いている。飛び石的に施工しても穴が開けば効果は薄れると考える。今後、市としての計画的設置について対象地区と協議し、有害鳥獣対策を実施する事は出来ないのか伺う。</p> <p data-bbox="496 1384 1270 1559">(5) 市役所周辺では、カラスによる糞・騒音の苦情を多く聞くが、市役所の屋上についても、止まり木となり不気味な様相である。市は、生体数の把握や駆除計画また、機械的に追い払う等の対策を講ずる計画は有るのか伺う。</p>	<p data-bbox="1299 371 1490 409">産業振興部長</p> <p data-bbox="1299 589 1490 627">産業振興部長</p> <p data-bbox="1299 801 1490 840">産業振興部長</p> <p data-bbox="1299 1077 1490 1115">産業振興部長</p> <p data-bbox="1299 1384 1490 1422">産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	野村康幸 (一問一答方式)	<p><b>1 除排雪に伴う防災・減災について</b></p> <p>(1) 現在、黒部市全域で貸与している除雪機械の中で、各自治振興会及び町内会単位で使用されている除雪機械は何台あるのか伺う。</p> <p>(2) また、各自治振興会及び町内会との体制を強化するとありますが、具体的にどのような内容なのか伺う。</p> <p>(3) また、全国的に見ても委託業者の人材不足及び高齢化が顕著であることは事実であることから、各自治振興会や町内会で除雪オペレーターを選任し、小型特殊運転免許等の取得に伴う助成や補助を行うことについてのお考えがないか伺う。</p> <p>(4) 黒部市内において、雪の塊によって用水が溢水している事実があることをご存じであるかどうか伺う。</p> <p>(5) 黒部市内に流雪溝を設置する場合、どのような条件を想定しているのか伺う。</p> <p>(6) 令和4年度除雪計画の中の重点には「住民協力を得るための広報活動」があります。事故や災害を未然に防ぐ目的にも繋げるべく、流雪溝への排雪を上流部から下流部にかけて時間制にするなどの対策を講じるよう市が主体となり各自治振興会や町内会と体制・連携強化し防災・減災に繋げていくお考えはないか伺う。</p> <p>(7) 令和3年第6回定例会において、見直しの大きなポイントは6項目であるとお答えになっておられます。1つ目は、実施体制の強化。2つ目は、委託業者の配置体制の見直し。3つ目は、除雪機械の増強。4つ目は、県との連携強化。5つ目は冬期道路状況の提供。そして6つ目は地区との協力体制の強化。そこで、お伺いします。大きく見直されたこの6項目について令和3年度実施された成果について伺う。</p>	<p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>



質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	野村康幸 (一問一答方式)	<p><b>1 除排雪に伴う防災・減災について</b></p> <p>(8) 5つ目に「冬期道路状況の提供」とあります。今般、黒部市公式ラインが開設され様々な情報を提供されているところであります。しかしながら、直近の統計では1,275名の友達登録であり、市全体のわずか約3%程度となっております。総務省情報通信政策研究所の令和2年9月調査によると、主なソーシャルメディア系サービスアプリ等の利用率について、ラインが86.9%と全年代において最も利用率が高いとされています。利用率が高いにも関わらず登録者数が少ないのはどこかに原因があると考えますが、見解を伺う。</p> <p>(9) 今後、登録者数を増やすための活動を考えているのか伺う。</p> <p>(10) また、ラインを活用して冬期道路状況及び災害情報等を発信し防災・減災に繋げていくお考えはないか伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>都市創造部長</p>
		<p><b>2 観光政策について</b></p> <p>(1) 市長は『長野から能登へとより広域的な観光ルートの発信、金沢の観光客を黒部に』と言われております。そこでお伺いします。市長は政策の中で観光政策の強化を掲げておられますが、改めて観光政策強化について具体的見解を伺う。</p> <p>(2) 新幹線延伸によって、「温泉」と付く駅名が黒部宇奈月温泉駅を含めて3つになることとなります。共通キーワードである「温泉」を基軸とし、加賀温泉(石川県)・あわら温泉(福井県)との連携を強化し、新幹線を活用した長期滞在型観光パッケージを構築するお考えがあるか見解を伺う。</p> <p>(3) 高低差4,000mにも及ぶダイナミックな自然環境を十分に堪能していただくためには1泊2日のような短期滞在観光では不可能だと考えますが、長期滞在型観光を通して黒部の自然環境を満喫していただけるような観光パッケージを構築するお考えはないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
8	野村康幸 (一問一答方式)	<p data-bbox="501 293 831 331"><b>2 観光政策について</b></p> <p data-bbox="501 371 1270 544">(4) 令和4年第5回定例会において「来年度は民間資本、民間活力の導入の可能性も含め、関係者等による有識者会議を立ち上げる」と答弁がありました。改めて宇奈月温泉スキー場グリーンシーズンの利活用についてのお考えを伺う。</p> <p data-bbox="501 696 1270 801">(5) 宇奈月温泉スキー場について民間資本・民間活力による有識者会議を立ち上げるとありますが、具体的にどこの民間活力を予定しているのか伺う。</p> <p data-bbox="501 898 1270 1032">(6) 宇奈月温泉スキー場について持続可能な通年利用化に向けた計画を策定するともお答えになっておられますが、「持続可能な通年利用」について現在当局で描いておられる計画について伺う。</p> <p data-bbox="501 1093 1270 1265">(7) 黒部市内に住む地元の方々こそ宇奈月温泉スキー場のグリーンシーズンの魅力を発見していただき、関係者及び地元の方々が一丸となって誘客促進や新たな仕掛けに向けた検討をしていかなければならないと考えますが当局の見解を伺う。</p>	<p data-bbox="1299 371 1493 409">産業振興部長</p> <p data-bbox="1299 696 1493 734">産業振興部長</p> <p data-bbox="1299 898 1493 936">産業振興部長</p> <p data-bbox="1299 1093 1493 1131">産業振興部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	辻 泰久 (一問一答方式)	<p><b>1 警察署の再編について</b></p> <p>(1) 市内2か所の候補地について、市はどう考え、今後どのように対応するのか伺う</p>	市長
		<p><b>2 北方領土問題について</b></p> <p>(1) 12月1日東京での北方領土返還要求アピール行動に参加されての感想を伺う。</p> <p>(2) ロシアがウクライナに侵攻を開始してから9か月経過いたしました。戦況は混迷の度を増してさらに長期化が避けられない情勢だと思います。一日も早い話し合いによる停戦を望むものです。市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 懸念されるのは北方領土返還運動への影響であります。北方領土問題の解決を目指す日露交渉は途絶えたままで再開の糸口が見えません。ビザなし交流などの事業は中止され元島民の高齢化が進み領土問題の解決が急務だと思いますが市長の見解を伺う</p>	市長  市長  市長
		<p><b>3 ふるさと納税について</b></p> <p>(1) 本年度の実績を伺う</p> <p>(2) 対前年度比を伺う</p> <p>(3) 令和4年9月議会での答弁でサイトを増やすとの事であったがどのようになったかを伺う</p> <p>(4) 手続きが面倒臭いとの声があるが簡略化できないかを伺う</p> <p>(5) 仕組みそのものが解からない、時間がない、難しそうなどの声があるがどのように対処するか伺う</p>	総務管理部長  総務管理部長  総務管理部長  総務管理部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	辻 泰久 (一問一答方式)	<p>3 ふるさと納税について</p> <p>(6) 各郷里会へ出かけて内容の説明をしては如何か伺う</p> <p>(7) 8月に返礼品の事業者を募集していたが応募状況を伺う</p> <p>(8) 商工会議所や黒部市農協などと返礼品などの事で相談する場を設置すればどうか伺う。</p> <p>(9) 返礼品が特定のものに集中した場合、どのように対処するのか伺う。</p> <p>(10) 地域が求める支援事業を提示して賛同を得る「応援型」にもっと力を入れるべきと思うが見解を伺う</p>	<p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>総務管理部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	橋 詰 真知子 (一括方式)	<p>1 黒部市の新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) ワクチンを接種しても、感染対策をしても、時として感染してしまうことがあるのが現状であり、感染を防ぐために換気や手洗いの必要性などを周知することは必然であります。 そこで、感染した場合はどうしたらいいのか、どのような支援を受けることができるのか、それらの周知にいっそう力をいれるべき段階にきていると考えますが、認識をお伺いします。</p> <p>(2) さらに、黒部市のホームページのトップ画面上の緊急情報の囲みの中に新たに「新型コロナに感染した方へ」という項目を追加して、富山県のホームページ内の新型コロナウイルス感染症 感染確認から療養までのながれのページにつながるようにするなど、情報を必要とする人が、的確な情報にたどりつけるようにすることも肝要な支援であると思っておりますが、所見をお伺いします。</p> <p>(3) 情報収集の手段として、インターネットは24時間年中無休で手軽に調べることができて便利であり、市のホームページや公式ラインなどでのわかりやすい情報提供を推進してほしいと思っております。市長の見解をお伺いします。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等に対する食料品等の支援のこれまでの利用件数や周知方法および課題と今後の継続についてお伺いします。</p>	<p>防災危機管理統括監</p> <p>防災危機管理統括監</p> <p>市長</p> <p>市民福祉部長</p>
		<p>2 こども医療費助成制度の対象を拡大したことについて</p> <p>(1) 3年半経過した今、その実績と成果および保護者からの反応と年間の総事業費支出はどのような状況なのかお伺いします。</p> <p>(2) あわせて、富山県に対して、高校生年代までの通院入院医療費について、さらなる支援を求めるべきと考えますが、市長の見解をお伺いします。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
10	橋 詰 真知子 (一括方式)	<p>3 市内小中学校におけるタブレットパソコンについて</p> <p>(1) 情報モラルの観点からの指導はなされていると感じておりますが、タブレットパソコンは学びをより豊かなものにしていくために使う学習用具であるという大前提は子どもたちにどのように、かつ、どれくらい浸透しているのか、教育部長にお伺いします。</p> <p>(2) 学びと遊びの線引きは難しいものですが、使用する児童・生徒ひとり一人が大前提を意識して使うことが重要であると考えます。 子どもの意識だけでなく、保護者の意識も学校と共通認識を持つことが重要であると考えます。 家庭と学校と行政は、それぞれに立場も役割も違うからこそ、連携することで子どもたちを多角的にサポートできるものと思っております。保護者へ向けた情報提供・情報周知について、これまでにどのような取り組みがなされ、今後どのように進めていく予定なのかお伺いします。</p>	<p>教育部長</p> <p>教育長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	高野早苗 (一問一答方式)	<p><b>1 物価高騰に対する支援について</b></p> <p>(1) 令和5年度の予算編成に当たり、市長は物価高騰対策を重点事業の1つとしているが、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し、どのようなきめの細かい支援を考えているのか。また、市独自の支援を考えているのか。</p>	市長
		<p><b>2 未利用の公共施設の取り扱いについて</b></p> <p>(1) 9月定例会で、民間に未利用の公共施設について優れた事業提案等を求めていく対話型(サウンディング)市場調査について細部にわたって質問があったが、その後の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 市と地元との連携がもっと必要と思う。ある大学の調査でも廃校活用の優良事例の約半数が地元参画の事例である。市が組織づくりを地元を誘導し、市と地元が協働で取り組むプロジェクトチームのような組織をつくっていけないか伺う。</p>	<p>総務管理部長</p> <p>市長</p>
		<p><b>3 高齢者の移動手段の確保について</b></p> <p>(1) 駅やバス停まで行けない歩行困難な方に対してどのような対応がされているのか、市内のボランティア活動も含めて伺う</p> <p>(2) 市内の公共交通空白地域は福平町内会だけと認識しているのか。また、公共交通空白地域の今後の対応策について伺う。</p> <p>(3) 地域公共交通活性化再生法が令和2年11月に改正され、公共交通のみでなく、自家用有償旅客運送やスクールバス、福祉バスなども対象とした「地域の輸送資源の総動員」という言葉が織り込まれた。「黒部市地域公共交通網形成計画」に今後反映させていくのか。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>市長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
11	高野早苗 (一問一答方式)	<p><b>4 安全安心な道路について</b></p> <p>(1) 令和元年6月定例会で通学路について質問し、教育委員会として通学路についてもう少し研究していきたいとの答弁だった。その後の研究について伺う。また、現状の通学路にどのような課題があると認識されているのか伺う。</p> <p>(2) 道路沿いの用水路の安全安心対策について伺う</p> <p>(3) 道路白線修繕費に毎年一千万円計上されているが、白線が見えなくなっているところが散見される。要望をされるのを待つのではなく、先導的にやる仕組みづくりが必要と考えるが、道路白線修繕の考え方について伺う。</p>	<p>教育部長</p> <p>都市創造部長</p> <p>都市創造部長</p>
		<p><b>5 带状疱疹ワクチン助成について</b></p> <p>(1) 带状疱疹発症の発生状況について伺う。</p> <p>(2) 带状疱疹ワクチンについて伺う。</p> <p>(3) ワクチン接種費用の一部助成が出来ないか伺う。</p>	<p>病院長</p> <p>病院長</p> <p>市長</p>



質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
12	大辻菊美 (一問一答方式)	<p>1 「民生委員・児童委員」の人材確保・活動の負担軽減について</p> <p>(1) 今まで民生委員・児童委員のなり手不足といいながらも、民生委員・児童委員改選の度に委嘱者数が増加していた。委嘱予定が2名増の118名と聞き及んでいたが、116名が厚生労働大臣の委嘱を受け、12月1日より活動をしている。なり手不足で欠員が起きた地区があったのではないか。対処について伺う。</p> <p>(2) 民生委員・児童委員の任期は3年であるが再任することでより細かな支援・相談・情報提供を行うことができる。しかしながら、1期(3年)で退任する方が改選ごとに増加している。現状について伺う。</p> <p>(3) 新任民生委員・児童委員が増加するなかで、再任民生委員・児童委員が減少することによる影響について伺う。</p> <p>(4) 「民生委員・児童委員」の年齢要件は、地区担当民生委員・児童委員は75歳未満、主任児童委員は55歳未満となっているが地域の実情を踏まえて、それ以外の方がなっていたりもする。現在、定年延長や定年後も働く人が増えたために人材確保が難しくなっている。全国でも民生委員・児童委員の高齢化が進んでいる。本市の現状について伺う。</p> <p>(5) 民生委員・児童委員の活動中に事故が生じた場合に保険補償がある。全国的に民生委員・児童委員の高齢化が進むなか、活動中に転倒や交通事故が増加しているとのこと。本市の状況について伺う。</p> <p>(6) 民生委員・児童委員の負担軽減のため一部の地域において、福祉サポーターが配置されている。効果について伺う。</p> <p>(7) くろベネットICT実証実験が事業化に向けて令和元年度より、3か年にわたり実施されてきた。今年度、事業化され「くろベネットボタン事業」として高齢者世帯を対象に設置され簡単な操作で地域サービスを受けることができる。設置状況について伺う。</p> <p>(8) 令和7年には団塊の世代の方々が75歳に到達する。くろベネットボタンを必要とする高齢者世帯が増加すると思われる。それまでの台数確保等の事業体制計画について伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p> <p>市民福祉部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
12	大辻菊美 (一問一答方式)	<p>1 「民生委員・児童委員」の人材確保・活動の負担軽減について</p> <p>(9) 「くろベネットボタン事業」をスタートさせてからの(元気カード・相談カードなど)の利用状況について伺う。</p> <p>(10) 高齢化が進み高齢世帯が増加していくなかで「くろベネットボタン事業」は見守られているという安心感で社会とつながりやすくなる。ICT機器の見守りによって民生委員・児童委員活動の負担軽減にもつながる。本市としての支援について伺う。</p>	<p>市民福祉部長</p> <p>市長</p>

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式